※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」　（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「美術Ⅱ」では「美術Ⅰ」で学んだ基本的な要素や考え方を軸に、それぞれの題材について焦点化し、より深く学んでいきます。表現や鑑賞の活動を通じて、これまであまり気に留めていなかった事柄に気づき、自分の作品にどのように生かせば良いのか考えながら、より豊かで創造的に学びを深めていきましょう。造形を捉える多様な視点に気づき、その効果や生かし方を考えましょう。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して感性や美意識、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉えられるようになること。自ら考え、判断し、表現する力、自分で新しい意味や価値を作り出す力を育み、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成している。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	主題に合った表現方法を工夫し、創造的で心豊かな表現の構想を練っている。表現の工夫などについて、多様な視点から考察し、価値意識を高め、美術や美術文化に対する見方や感じ方などの学びを深めている。	美術の幅広い創造活動に、興味を持ち、主体的かつ積極的に取り組んでいる。美的な感性を高め、美術文化に親しみ、創造的に味わい、心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現とは何か	【鑑賞】【絵画・彫刻・デザイン】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、作品と作家について調べ、作品の表現形式や作家の制作意図について考える。 ・ワークシートに考えたことや分かったことを記述する。 ・表現とは何か、グループで話し合う。	a:作品をじっくりと鑑賞し、表現の特色などを読み取る。作者がなぜこのような作品を制作したのか考える。 b: その図版を選んだ理由、作品と作者、作家の制作意図について理解し、説明できる。 c: 学習意欲の高揚。作者の表現意図などを深く創造的に味わい、美術表現とは何かを主体的に学び、つかみ取ろうとしている。	発言の様子 ワークシートの記述	発言の内容 ワークシートの記述	学習活動の様子 ワークシートの記述
	ポスターを作ろう	【デザイン】 ・ポスターのテーマを決める。 目的、相手を考える。 掲載する情報を整理する。 キャッチコピーを考える。 ・レイアウトを考え、色彩計画を立てる。 目を引き、印象に残り、情報が伝わるように。 ・アクリルガッシュで彩色表現する。 描画材料の特性を生かす。	a: 目的や機能に基づいて技法や材料の特性を理解し、計画や手順を吟味し、主題を追求し創造的に表現している。 b:目的、条件、機能、用途と、造形的な美しさとの調和を考え主題を生成し、効果的な表現方法を工夫し創造的な表現の構想を練っている。 c: ポスターの目的、機能などを考えて表現することに関心を持ち、制作の見通しを持って主体的に構想を練り表現している。	ワークシート アイデアシート 作品	ワークシート アイデアシート 制作途中の作品 完成作品	ワークシート アイデアシート 学習活動の様子 作品
2学期	マイキャラクター	【デザイン】 ・自分自身を表すマスコットキャラクターを制作する。 自分自身を深く見つめる。 自分を象徴する色、形、好きな食べ物、好きな〇〇…を思いつく限り挙げ、組み合わせたり強調したりして、キャラクター造形に応用する。 画用紙に彩色表現する。	a:自分自身の特徴、性格や好みなどを分析し、表現形式、形態や色彩などを工夫し、キャラクターとして創造的に表現している。 b:想像力を豊かに働かせて、キャラクターの設定を考え、主題に合った表現方法を追求し、試行錯誤しながら創意工夫している。 c:自分のキャラクター作りに関心を持ち、主体的に構想している。	ワークシート 作品	ワークシート アイデアシート 作品	ワークシート アイデアシート 学習活動の様子 作品

※令和４年度以降入学生用

	樹脂粘土で貯金箱を作ろう	【彫塑】 貯金箱の芯材を土台に、樹脂粘土を用いて、造形的な立体作品を制作する。 ・粘土の可塑性を生かす。 素材の特徴を生かして、自在に形づくろう。 ・具体的で写実的な作品を作る。 抽象的なものではなく、具象的に作る。構造をよく吟味し、細部まで詳しく表現する。 立体表現として、360°どこから見ても見ごたえのあるものにする。 ・用途についても配慮する。 貯金箱としての機能を有しており、なおかつ独創的な表現を工夫しよう。	a:芯材の形と粘土の特性をふまえて、材料や用具を活用しながら主題を生成している。作品が、あらゆる角度から見て成立し、貯金箱でありながら存在感のある立体造形になるよう創意工夫している。 b:主題に合った表現方法を工夫し、試行錯誤しながら創造的に表現している。リアリティのある立体造形をめざして、形態や色彩などをよく吟味し表現の構想を練っている。 c:立体的な粘土の造形について興味や関心を持ち、自ら率先して創造的に表現している。	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 制作中の作品 作品	アイデアスケッチ 学習活動の様子 作品
3学期	写真撮影の基本	【映像メディア表現】 自分が表現したいことに合わせて、構図や光などを意識して写真を撮影する。 ・構図、明るさ、光の向き、色調に留意し撮影する。 ・相互鑑賞する。	a:場所や時間の設定、風景や人物、モチーフ選びについて考察し、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成している。 b:カメラの特性を理解し、効果的な表現にするための構想を練り、意図に応じて視覚的要素を工夫して表現している。 c:表現意図を大切にし、主体的に主題を生成して構想を練っている。作品の良さを創造的に味わっている。	行動観察 ワークシート スケッチ 作品	行動観察 ワークシート 作品	行動観察 ワークシート スケッチ 作品
	人物画を描く	【絵画】 ・人物を観察し、その人のイメージや心情を表そう。 ・ペアで交代しながらクロッキーを行う。 ・小品制作(水彩画)	a:人物のイメージや心情を表す表現の工夫がみられる。 b:感性を働かせ、形態や色彩を工夫し創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に表現方法を工夫し、表現しようとしている。	活動の様子 クロッキー 作品	スケッチ クロッキー 制作中の作品	活動の様子 クロッキー 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度